

## 無事に火入れ作業終了

保全の会のメイン行事の火入れ作業が、予定日の2月28日行われました。

当日の参加者は安藤俊二、井上理、井上千鳥、今田光博夫妻、内野純一（午前）、小田毅、川野弘人、古代英四郎、工藤剛、児玉清一郎、後藤勝彦、後藤利雄（午後）、定松亨、首藤宏史、生野喜和人、高橋東洋雄、藤内広三、中村茂、波多野英哲、渡辺新十郎、渡辺忠義、堀英樹（午前）の23名でした。

風速、湿度など気象条件を測定後、避難路を確認して、シューターに水を注入し準備を終え、消防署に火入れを通告して、D地区、A地区、B地区の順に消火を確認しながら作業を進めました。

10時30分に点火して3カ所すべて終了したのは11時30分で、正味1時間の活動でした。午後は、湿原西側の植林地帯との境界に整備している防火帯で伐採した樹木の片付けを行い、最後に県道沿いに捨てられた空き缶、ペットボトルを回収して作業を終わりました。

火入れは今年で5回目ですが、実験区で小面積とはいえ緊張する作業です。消火器具のシューターを他団体から10機借用しましたが、無事故で終了できたことを喜びたいと思います。今後も安全対策には万全を期して望みたいと思います。



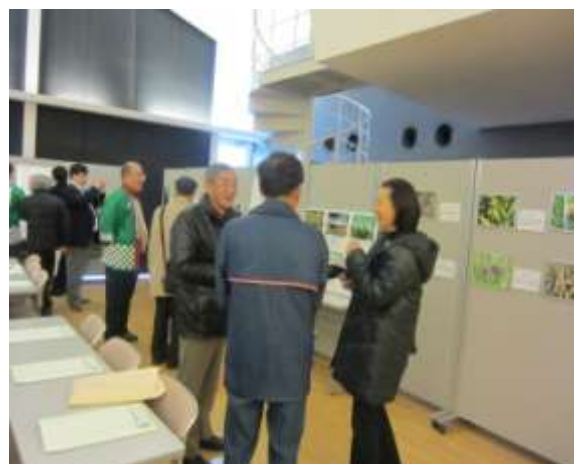
## 「生物多様性シンポジウム」で活動紹介

2月17日、山香町の農業文化公園で県農業公社主催の生物多様性シンポジウムが開催され、猪の瀬戸湿原保全の会も協賛して24枚の写真を展示し、会の活動をポスターセッションで紹介しました。



当日は、小雨模様の中、各地から約250名が集まり、宮城県のNPO法人「田んぼ」理事長岩淵成紀氏の自然農法による米作りの講演とパネルディスカッションがありました。当会からの参加者は川野弘人、児玉清一郎、熊瀬良治、生野喜和人、藤内広三、内野純一、渡辺新十郎、井上千鳥、小田毅、首藤宏史、定松亨の11名でした。

少しは保全の会の宣伝になったと思います。



会場のポスターセッション風景